

■福島県飯舘村の震災・原発被災の現状

災害対策本部長（飯舘村長） 菅野典雄

1、集団避難の状況

本日午後1時、第2陣の集団避難希望村民等の移送を実施した。集団避難者の中には、屋内退避地区である以外の村民も多数いる。

第2陣の集団避難者は202人。自衛隊準備のバスと村スクールバスで、スクリーニング地点の松川サービスエリアに向かい、スクリーニング後に鹿沼市に移動する。

新たに村職員2名が随行した。

2、村外の避難者受け入れを終了した

隣接する南相馬市が市民の希望者を対象に集団自主避難していることや、自治体が新たな場所で自治体に住所があった住民の避難場所を確保する動きが広がっていることを踏まえ、一時約1,200人の村外からの避難者を受け入れてきたが、本日正午をもって受入を終了し、新たな村外避難民の受け入れ施設は閉鎖した。

3、生活物資、医薬品、医療

大根、キャベツ、白菜、ごぼう、エリンギやマイタケなどの野菜は、茨城県の民間業者の支援で約6tを確保し、特別養護老人ホームや独居高齢者などに配布できる見通しとなった。

しかし、医薬品はまだ確保の見通しが無い。特に高齢者の常備薬が入手困難である。

福祉担当の職員3人で、ひとり暮らし高齢者の訪問サービスを実施しているが、職員は見えない放射能への恐怖や不安を持ちながら、公用車で戸戸訪問している。

4、放射線数値と対応

午後1時「 $1.5 \mu\text{s v}$ 」とやや下がった値が出ている。

午前中のグラフは添付のとおり。

午後1時ごろ、県検査員が屋外と建物内部の現地実測を行っている。建物内部では「 $1.9 \sim 2.0 \mu\text{s v}$ 」とうい低い数値であった。

ヨウ素剤の住民投与は20日午前現在未実施。

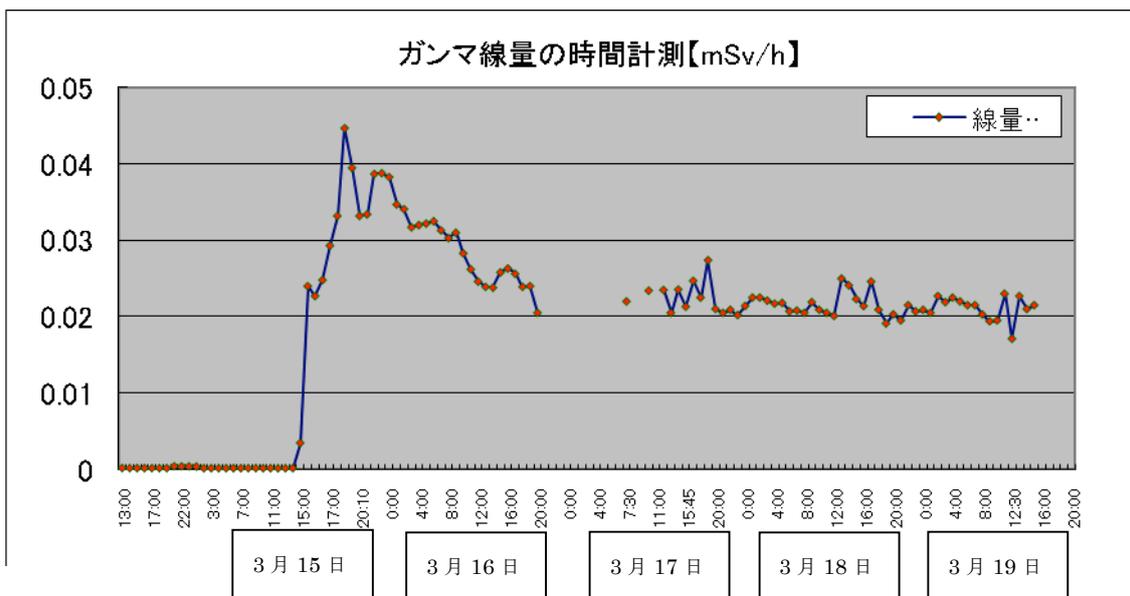


図1 飯館村役場近くの「いちばん館」前で計測

5. 今後の対応

<決定事項>

- ・ 明日予定していた集団自主避難は、希望者がいないので、本日で終了する。
- ・ 村外からの「新たな避難者」の村施設受け入れも本日午前で終了する。
- ・ 屋内退避地区圏内にある村民が避難を希望する場合、自己責任避難の対応をお願いする。
- ・ 自主避難などで遠隔地に移動した村民が医者にかかる場合の利便を図るため、「遠隔地用健康保険証」を交付する。